



市県民税の申告を受け付けています

シープラザ釜石 2階 [受付時間] 9時30分～16時

【期間：3月2日～17日】

日	月	火	水	木	金	土
3/2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17					

- 9時開場となります。
- 3月2日、9日、16日は日曜申告受付を行います。
- これまでの例から、3月第1週は特に混雑が予想されます。
- ※期間中、3月4日(火：休館日)、土曜日(3月8、15日)は受付を行いません。

申告受付会場 [受付時間] 9時～16時

月日	曜日	受付地域	受付会場
2月20日	(木)	唐丹町	唐丹公民館
2月21日	(金)		
2月24日	(月)	野田町	小佐野コミュニティ会館
2月25日	(火)	定内町、礼ヶ口町、新町、住吉町	
2月26日	(水)	小佐野町、甲子町第15～16地割	
2月27日	(木)	小川町、桜木町	
2月28日	(金)	平田第1～9地割	上平田ニュータウン集会所

市は、3月17日(月)まで申告受付を行います。2月中は各地区が受付会場となりますので、ご都合に合わせて最寄りの会場をご利用ください。また、シープラザ釜石での受付は3月2日(日)からです。2月中に各地区の会場で申告できなかった人は、シープラザ釜石をご利用ください。

申告の際のお願い

- 税務署から確定申告書が送付された人は直接税務署へ申告書を提出してください。
- 申告会場は混雑します。営業所得や農業所得などを申告する人、医療費控除などを受ける人は、領収書の集計や収支計算をあらかじめ済ませた上で来場ください。受付時間の短縮にご協力をお願いします。
- 収支計算書が必要な人は市税務課に問い合わせください。
- 問い合わせ：市税務課市民税係(内線141)

要介護認定を受けている人は控除される場合があります

介護保険の要介護認定を受けている人は、確定申告(市県民税申告)で次の控除を受けられる場合があります。

○ 障害者控除：65歳以上で、日常生活に介助が必要な人、または認知症状などで生活に支障がある人は、市の発行する証明書で控除を受けられる場合があります。

○ おむつ代の医療費控除：初回の申告時には医師の発行した証明書が必要ですが、2年目からは市の発行する証明書で代用できる場合があります。

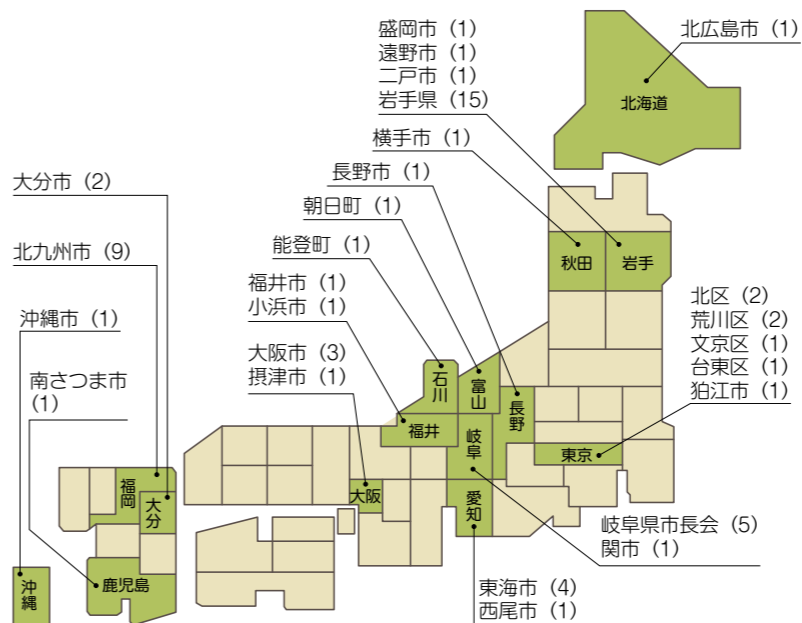
問い合わせ：市高齢介護福祉課(☎22-0178)

派遣職員(106人)の状況 [平成26年2月1日現在]

◎自治体からの派遣【60人】

県内の自治体をはじめ、北海道から沖縄まで、全国各地の26団体から60人が派遣されています。期間は派遣元自治体によって異なりますが、3カ月～2年程度となっています。

※()は人数



■国、民間などからの派遣【46人】

- 国……………28人
[財務省(1)、国土交通省(2)、復興庁(25)]
- 民間……………6人
[都市再生機構(1)、KDDI株式会社(1)、経済同友会(4)]
- 任期付職員……………12人

■派遣職員の配置先

- 特別職→1人(副市長) / 総務企画部→6人
- 市民生活部→7人 / 保健福祉部→16人
- 産業振興部→10人 / 建設部→21人
- 水道事業所→1人 / 教育委員会→12人
- 復興推進本部→32人

■職種

- 事務職→56人 / 土木職→28人 / 建築職→8人
- 電気職→2人 / 保健師→8人 / 看護師→1人
- 保育士→1人 / 栄養士→1人 / 文化財調査員→1人

◎各年の派遣職員の状況

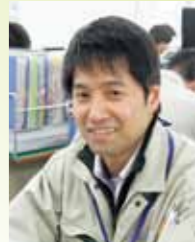
	自治体	その他	合計
26.2.1	60	46	106
25.2.1	39	6	45
24.2.1	16	4	20

- ・「その他」は国や民間団体など。
- ・上記人数には、避難所など震災直後の支援業務への派遣は含まない。

全国からの派遣職員が復興をサポートしています

市では現在、全国から数多くの職員の応援派遣を受けて、本格復興に向けた取り組みを進めています。各地の自治体や民間団体などから幅広く、さまざまな形態を通じて106人が派遣されており、土木や建築など各分野の専門的知識や経験、民間のノウハウ、柔軟な発想を生かし、復興推進の各業務を支えています。今年2月1日現在の職員派遣の状況は次のとおりです。

なお、今後の復興まちづくり事業の具体化、進捗に伴う業務量の増大に対応するため、来年度はさらに職員の応援派遣受け入れを増やす予定です。




24年4月に赴任し、今年3月末でちょうど2年になります。地名や場所には覚えましたが、まだ分からない「釜石言葉」は多いです。それを察してゆっくり話してくれる市民の気遣いがありがたいです。以前、用地関係の業務経験はありましたが、地域での事業説明や複雑多岐な業務への対応など、得難い経験は貴重な財産です。またたく間の2年に感じていますが、この経験を派遣元のまちづくり策定に生かしていきたいです。

いりぐちまさひろ
入口雅洋さん (35)

派遣元：北九州市(危機管理課)
派遣先：復興推進本部 用地調整室

派遣職員の紹介



震災直後の栗林小避難所の支援、その翌月の狛江市消防団による炊き出し支援に続き、三たび志願して釜石にきました。少しでもお役に立ちたい思いで、前職の経験を生かし税の申告業務に携わっています。これまでとは違う形ですが、また皆さんを精一杯お手伝いします。訪れるたびにまちの様相が変化し、着実に前に歩んでいることを感じます。次に来るときは復興を遂げた釜石の姿を子どもに見せられる日が早く訪れてほしいです。

かとうひろゆき
加藤裕之さん (31)

派遣元：東京都狛江市(安心安全課)
派遣先：総務企画部 税務課